

団体名：NPO歌野の自然とふれあう会

活動名：古民家の再生・運営活動

代表者 / 坂田 ^{さかた} ^{せいき} 省己 所在地 / 下関市菊川町上岡枝郷原 1812

活動紹介

活動の目的

歌野清流庵は、「NPO歌野の自然とふれあう会」の活動拠点として、田植えや稲刈り、餅つきなど、歌野の四季折々の豊かな自然と農村の伝統文化にふれあう機会を地域内外の人々に提供しています。

事業展開としては、

古民家再生のための茅葺き技術の保存、継承

「グリーンツーリズム」など、都市と農山村の地域間交流、地元食材の発掘や開発による地産地消の促進

周囲の里山の再生と景観保全

の3点を掲げ、積極的に活動に取り組んでいます。

これまでの活動の様子（内容）

この町の北部に流れる歌野川の上流に、下関市の水壩「歌野ダム」が作られ、上流の地区が立ち退きになりました。夏にはホテルが飛び交い、山女が泳ぐ清流の流れる歌野川。その上流に築100年を超える茅葺きの古民家が独りさびしく、とり残されたのでした。一度は旧菊川町が「民俗伝承館」として借り上げ、昔の農機具、古民具などの展示館としていたのですが、茅葺きの屋根は苔むし、雨漏りはひどく、解体返還の話が持ち上がりました。そこで、珍しい貴重な文化遺産を守ろうと町民有志が「NPO歌野の自然とふれあう会」を立ち上げて、再生保存に取り組みました。現在は、古民家の所有者・西山氏より同会が借り受け、「歌野清流庵」と改名。川遊び、田植え、稲刈り、餅つき等のイベントを開催し、町内はもとより、県内及び県外から年間約1000名の参加者を得て、好評をいただいています。2005年2月、これまでの活動が認められて、都市と農山漁村の共生・対流推進会議（代表・養老孟司氏）主催の第2回「オーライ！ニッポン大賞」で、ライフスタイル賞を受賞しました。

活動の展望

古民家は会員、ゲストの皆さんの総意で「歌野清流庵」という素晴らしい名前も付けられました。2005年には内装工事も完了。この活動を継続的なものとするため、古民家を利用して地産地消の蕎麦打ち教室と季節の蕎麦の店を開業。会の経済基盤の安定を図るとともに、「清流庵」の文化庁の国指定登録文化財登録など、一層の知名度アップをめざして今後の展開を全国的なものとしたいと考えています。

今後の事業展開としては、古民家再生のための茅葺き技術の保存、継承など、前述の～の活動にも積極的に取り組んでいきます。

この活動を通じて生まれた貴重な体験とネットワークをさらに充実して、地元食材の発掘、グリーンツーリズム、地域交流の拠点として古民家とその周辺の一層の活用を進めていきたいと思ひます。



【古民家前での田植え体験】



【古民家を背景に秋の稲刈り体験】